



タイトル「2018年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教養演習Ⅱ		
担当教員	岩本 吉弘		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:G
講義室			
開講学期	後期		
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考			
ナンバリング			
授業概要とねらい	経済・経営に関する基礎的な知識、文献の理解とレポート作成・報告のスキル、の習得が狙いである。そのうえで、2年次の専門演習の選択にのぞんでほしい。		
望ましい水準	毎回、テキストに基づき、報告者と質問者を決めて進める。文献を正確に理解し、説得的な報告を作成すること、他の人の議論に合わせて討論に参加できるのが望ましい。		
授業計画	現在の日本経済全体を広く概説するテキストを選ぶ。半期なので対象は限られるが、以下のようなテーマが含まれる。 ・日本経済の全体像 ・戦後経済史の基礎知識 ・景気循環論 ・日本の雇用と経営の特徴 ・金融システムの基礎知識 ・対外貿易と円レート変動 など。		
教材・教科書	小峰隆夫他『差新 / 日本経済入門』(日本評論社、2016年、2700円)。人数分生協に注文しておくので、各自購入しておくこと。その他関連文献は適宜指示する。		
参考図書			
参考URL			
授業以外の学習	多様な題材を広く薄く取り上げる形になる。テーマ毎に指示された関連文献や資料など、自分の興味に合わせて深めるのがよい。		
成績評価の方法	毎回、範囲を定めて報告者・質問者を決める。演習への参加、つまり方億・討議の責任を果たすこと、無断欠席をしないことが条件になる。		
成績評価の基準	上記の義務を果たす限りでA評価にする。		
オフィスアワー	木曜日。事前に以下のメールで予約すること。e003@ipc.fukushima-u.ac.jp		
留意点・注意事項			
その他			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け1	経済経営学類のディプロマポリシー / 自分の意見を述べ討論し文章で表現できるコミュニケーション能力(経済経営学類-2)		
カリキュラムにおける当該科目の位置付け2			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け3			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け4			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け5			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け6			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け7			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け8			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け9			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け10			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け他			



Copyright (c) 2004-2011 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.